

令和 7年 1月 8日

板橋区立下赤塚小学校

校長 菊池 宏一

学校便り NO. 9

ホームページ

<http://www.ita.ed.jp/edu/simoaes/>

しもあか

二輪草学びのエリア

(赤塚三中・赤塚小・赤塚新町小・紅梅小・下赤塚小)

## 美風

校長 菊池 宏一

あけましておめでとうございます。令和7年となりました。昨年は元日に能登半島地震が発生し、翌2日には羽田空港での飛行機衝突事故が起こるなど、大きなニュースが連続で報道されてのスタートでした。今年は大きな事故や災害が起こらない穏やかな一年であることを祈ります。

石川県は元日の地震だけでなく、9月21日から23日にかけて発生した能登豪雨による被害が甚大で、本校では5年生が能登豪雨復興支援募金活動に取り組みました。募金活動を行うにあたっては、被災地で炊き出しボランティアに取り組んでおられる日本料理人の富成寿明様に来校していただき、5年生を対象とした講演会を開催しました。料理人である富成さんは、地震で自分のお店が壊れているにもかかわらず、地震後すぐ、避難所生活をしている方々のために温かい料理を避難所へ毎日届けることを決めたそうです。毎日料理を届けるためには、富成さん自身が避難所で感染症に罹らないよう、自分の車で寝泊まりして炊き出しを行っていること等を子供たちに話してくださいました。5年生は富成さんの話から避難所生活のことなど、多くを学びました。そして、何よりも学んだことは「困っている人のために自分ができることを考え、行動すること」です。

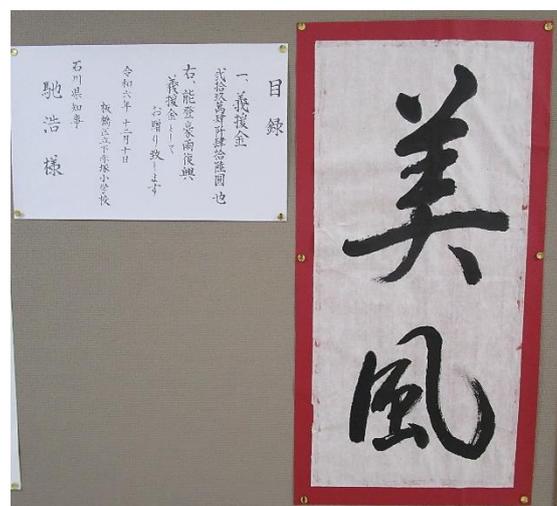
その後、5年生による募金活動が提案され、校内での募金だけでなく、活動は下赤塚の街全体に広がり、校内募金が94,281円、地域での募金が199,765円、義援金の総額は294,064円となりました。地域での募金活動では、5年生の手作り募金箱を設置してくださった店舗様が24店舗に上り、令和5年に実施したトルコ地震復興支援募金活動や、令和6年初頭の能登半島地震復興支援募金活動の協力店舗数を上回る数となりました。本校を取り巻く地域の温かさを、改めて実感しました。

12月10日、5年生の代表児童15名が永田町の都道府県会館にある石川県東京事務所を訪ね、中谷安孝所長に義援金を手渡しました。石川県の被災者のために、有効に使っていただきたいと思います。

昔から「徳を積む」という言葉があり、私はこの言葉をこれからも大切にしていきたいと考えます。「徳を積む」ことは、募金活動のように目的意識を明確にもって取り組むこともあれば、道路に落ちている空き缶を拾ったり、困っている友達に声をかけたりするなど、心がけ次第で日々実践できるものと考えます。これらの行いが積み重なって美風となり、本校の校風となるよう、教育活動に取り組んでまいります。

さて、この度、東京都教育委員会より「令和6年度東京都教育委員会表彰（健康づくり功労 学校保健・学校安全分野）」で優秀校に選出されました。令和5・6年度東京都教育委員会体育健康教育推進校としての取組や、家庭や地域全体の健康や安全に関する取組が高く評価されての受賞と考えております。皆様を代表して、1月15日に行われる表彰式に出席してまいります。

今年も下赤塚小学校の教育活動に、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。



## ～第5学年 能登支援プロジェクト 児童のふり返りをご紹介します～

### 1組

実際に被災し、ボランティアや炊き出しを行っている富成さんに直接お会いして話を聞き、本当に大変な思いをしていることを知りました。お話を聞いてニュースだけではわからない辛さや思いが分かり、募金へのやる気や思いが変わりました。少しでも自分にできることを行い、能登を助けられると思うと嬉しかったです。一人ひとりの募金で29万4千46円もの額になり、これは学校や地域のみなさんが協力してくれたおかげなので感謝を伝えたいと思い、お礼のポスター作りも頑張りました。能登が少しでも復興できると嬉しいです！

子供でも募金活動を「自分たち」で始めることができることが分かり、これからは協力をするだけでは無く、自分から何かを始めてみようかと思うきっかけになりました。

能登で苦しんでいる方々のために、能登支援プロジェクトを行って、地域の人には、募金をしてもらって、とても嬉しかったです。困っているところがあったら、またこのような活動をしたと思いました。どのように、どんなふうになればよいかを考えるのが、難しかったけれど、よい経験になりました。

能登支援プロジェクトを行って、下赤塚の地域の方々はとても優しいと思いました。能登のために本当にたくさんの人たちが募金に協力してくれて、とても驚きました。中には、信じられないほどの金額を募金箱に入れてくれていて、下赤塚の地域の方々はとても優しいと思いました。

募金に協力してくれた人たちの思いが能登の人たちに届いてほしいと思いました。商店街のいろいろなお店にも協力してくださって、29万円も募金が集まったのでこれで能登が少しでも助けになるといいなと思いました。

### 2組

富成さんが避難所の学校を借りて炊き出ししている事を知って、どのような苦労があるのか聞きたいと思いました。お忙しい中、学校に来ていただき話を聞いて、自分の事よりも避難している人たちの事を優先して炊き出しを行っている大変な方だなと感じました。この富成さんの苦労や被災者の声を全国の人たちに知ってほしいです。

地震のときにみんな心が折れてもう何もしたくないと思うけど、富成さんは自分のことは後回しで能登半島の被災者に炊き出しやボランティアをされていてすごい方だと思いました。

災害が起きた時には募金活動などを行って互いに支援し合う事が必要だと思いました。このような活動を行う事で能登の復興に繋がるだけでなく、協力してくださった地域の方々との交流も出来ました。

たくさん協力していただいたおかげで、たくさん募金が集まったと思ったので、本当にありがとうございますという感謝の気持ちでいっぱいです。

### 3組

自分たちの行動が誰かのためになっていると思うと嬉しいです。これからも、できることを、積極的に行っていきたいです。

能登には今でも家がなくて辛い思いをしている人がたくさんいることが分かりました。私もこれから募金箱を見つけたら積極的に協力して少しでも能登が早く元に戻ってほしいと思いました。

## SHIMOAKA

たくさんの店舗の方々が協力してくださってとてもありがたいと思いました。地震や豪雨の悲惨さを実感することができ、いつ自分たちの身に危険が起こるかわからないから普段から備えておきたいです。このことをもっとたくさんの人たちに伝えていきたいし、このプロジェクトを通して一人でも多くの方が救われるといいなと思いました。

私達は今年のお正月に軽度の地震があったものの、のんびり安全にお正月を迎えました。ですが、石川県や富山県など、石川県まわりの県の方々は、「こわい」「心配」などの恐怖の気持ちを抱えながらお正月を迎えました。今年の石川県の地震みたいに突然地震、豪雨などが起きる可能性があるのです。今わたしたちにできることを考えて、一日を過ごしていきたいと思います。

被災地では困っている人達がたくさんいて、それを助けてくれる人が一人でも多くいると、少しでも多くの人を助けられると思います。言葉で言い表せないほど、良い学習ができたと思います。富成さんのように、私も目の前に困っている人がいたら、助けられる人になりたいです。



# 1月の予定

※SC・・・スクールカウンセラー

日	月	火	水	木	金	土
29 学校閉庁日	30	31	1	2	3	4
5	6	7 冬季休業日終	8 始業式 安全指導日 計測1・2年 4時間授業	9 給食(始) 計測3・4年 席書会 (5・6年) 委員会活動	10 NIEタイム 計測5・6年 席書会 (3・4年) なかよし班活動	11
12	13 成人の日	14 S時程 4時間授業 (全学年) SC相談日	15 習熟	16 社会科見学 (6年生)	17 NIEタイム 避難訓練 集会 書き初め展始	18 S時程 土曜授業プラン いたばし学級活動の日 租税教室(6年) 寺子屋教室
49	20 朝会	21 NIEタイム SC相談日	22 クラブ活動	23	24 水曜時程 書き初め展終	25
26	27	28 NIEタイム 社会科見学 (5年生) SC相談日	29 放課後学習 (1・2・3年) iCS委	30	31 NIEタイム 集会	

※予定は変更となる場合があります。

## 書き初め展

17日(金)から24日(金)に校内で書き初め展を行います。場所は、各学級の廊下の掲示板となります。保護者の皆様が参観できる日は、下記の3日間となります。お子様の頑張りをぜひご覧ください。

保護者の方の鑑賞・・・17日(金) 20日(月) 15:45～16:30

・・・18日(土) 8:35～11:00

## 土曜授業プラン

今年度最後の土曜授業プランとなります。今回は、全学級において学級活動の授業公開もいたします。土曜授業プラン当日の参観の仕方等、詳細は後ほど配信いたします。お便りをご覧ください。

1年 研究授業 体育科「しもあかボールランド」

1年1組

鹿又 慶子

1年1組担任の鹿又慶子です。11月15日（金）に体育科で



ボールゲームの1時間目を研究授業として行いました。ボールゲームは、ボールを投げる、捕る、蹴る、止めるなどの簡単なボール



操作を身に付けるとともに、規則を工夫したり作戦を立てたりしながら、集団対集団で得点するために友達と協力すること

を楽しむという運動です。今回は、単元の前半に、様々な場でボールを投げる運動遊びを行うことで、楽しみながらボール操作を身に付けられるようにしました。単元の後半は、ボール投げゲーム（押し出しゲーム）を設定し、作戦を立てながらゲームを行い、友達と協力する楽しさを感じることができるようにしました。

本校の体育分科会では、目指す児童像を「運動やスポーツに親しむ子」と設定し、この児童像に近付けるための手立てとして、「運動との出会い」と「運動の楽しさや喜びを味わわせるための工夫」を考えてきました。今回の授業では、「運動との出会い」において、児童の運動意欲が高まるように、下赤塚小学校の教員による的当ての模範実技を行いました。教員の模範実技を見ることで、「自分もやってみよう」という意欲が高まっていました。また、「運動の楽しさや喜びを味わわせるための工夫」として、的の大きさ・重さや的までの距離などを自分で選ぶことができるような場を作りました。児童は、自分に合った的や距離を選ぶことで、的に当たる喜びを感じ、「もっと遠くから投げたい」「もっと重い箱に当てて倒したい」という目標を自ら設定し、楽しみながら取り組むことができました。



今回は「くだものゲットだぜ！」という的当て遊びを行いました。学習カードの振り返りには、「楽しかったです。次

はもっとたくさんくだものをゲットしたいです。」「次は、後ろの線から投げて当ててみたいです。」などの反応があり、運動遊びを楽しんだことや次時以降への意欲を高めていることが伝わってきました。今後も、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにしていきたいと思ひます。



2年3組担任の石鍋萌です。11月15日（金）に保健をテーマとした研究授業を行いました。12月の保健目標は「冬を元気にすごそう」となっています。冬を元気に過ごすために、子どもたちができることはいくつか考えられますが、その中でも学校で実践できることとして「手洗い」に着目しました。



普段から「手を洗いましたか？」と学級で聞くと「洗いました！」とみんな元気よく返事をしてくれます。しかし、9月のとある2日間検証してみると、31名中10名しか中休み後に手を洗っていないことが分かりました。とても衝撃を受け、これはなんとでも現状を理解させ、手洗いの必要性を知って欲しいと思い授業を組み立てました。そこで、本時では3つのポイントを取り入れました。

1つ目は、手洗いの検証で気になったところを動画化したことです。2年生の先生方に協力していただき、「手洗いダメダメポイント」として、動画を作成して提示したところ、児童から「石けんを使っていないよ。」や「友達とお話していて、手を洗えていないよ。」など手洗いの中でのダメダメポイントを見つけ、「自分もやったことあるかも・・・」と自分の手洗いについて振り返っていました。

2つ目は、養護教諭と連携して授業を行ったことです。馬場主任養護教諭が石けんを使うことの必要性を説明することにより、石けんを使って手の細かい部分まで正しく洗おうとする意欲を高めることができました。また、歌にして正しい手洗いを教えたことで、楽しく正しい手洗いができること、今でも一生懸命洗っている児童がたくさんいます。

3つ目は、ヨウ素液を使い、洗い残しや汚れを可視化したことです。自分の手に残った汚れを実際に見たことで、自身の手洗いの課題を見付け、洗い残しをなくすためにどのように洗えばよいか考えることができました。また、石けんで洗った後にもヨウ素液をつけてみたことで、石けんの効果を見れば、より感じるようになりました。

当日の授業の写真を見ていると、児童一人一人の手が、かなり汚れていました。自分の手の汚れに驚いている様子や、楽しそうに笑顔で学習に参加している様子が見られました。振り返りを見ると、多くの児童が今までの手洗いを見つめ直し、自分の行動目標を決めることができました。

この授業を通して児童が、少しでも手洗いや自分の健康について意識し、家庭や学校で自分の健康について考える時間が増えることを願います。

毎日、元気な下赤小の児童に会いたいのので、これからも一人一人が元気にすごすために、自分ができることを考え、実践できるように声を掛けてまいります。